





## 弘法寺文書



備前国豊原庄政所下文

指定区分	県指定重要文化財(古文書)
読みかた	こうぼうじもんじょ
所在地	瀬戸内市牛窓町千手 弘法寺
指定年月日	昭和34年3月27日 (名称変更及び追加指定: 令和3年3月12日)
解説	弘法寺の所蔵にかかる文書については、昭和34(1959)年3月27日に「足利尊氏御教書」が岡山県指定重要文化財に指定されているが、この外にも建長3(1251)年11月付けの「備前国豊原庄政所下文(びぜんくにとよはらしょうまんどころくだしぶみ)」を始め、鎌倉時代から明治初年にかけての文書が数多く残されている。これらは地方有力寺院の経営実態や、近隣住民からの厚い信仰の様相を窺わせるものであり、中近世の備前の歴史を伝える貴重な史料である。浦上氏や宇喜多氏等、戦国時代に勢力を有した武将や、池田光政以降の17世紀以後の岡山藩からの文書が含まれる点も注目に値する。
アクセス方法	
公開状況	
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">               駐車場         </div> <div style="text-align: center;">               トイレ         </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">               障害者用駐車場         </div> <div style="text-align: center;">               障害者用トイレ         </div> </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(古文書)
ぶんかざいめい (文化財名)	弘法寺文書
よみかた	こうぼうじもんじょ
しよざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町千手 弘法寺
していつひ (指定した日)	昭和34年3月27日 (名称変更及び追加指定: 令和3年3月12日)
せつめい	今の瀬戸内市牛窓にあるお寺が、まわりの人々から厚い信仰を受けていたことがわかる古文書です。岡山城主だった宇喜多秀家の手紙も残っています。鎌倉時代から、明治時代にかけて、備前地域の歴史がわかる貴重な資料です。